

# オープンアクセス加速化事業による JAIRO Cloudの強化

林 正治（国立情報学研究所）

2024年11月1日（金）16:00-17:30

オープンアクセス加速化事業におけるNIIの開発内容を説明する会

# NII RDCのOA加速化事業(FY2024)の目標

## 政府機関が

日本のOA加速化の成果が  
機関ごとに確認できるようになる

- 9 CiNii Research機関向けダッシュボード  
OA論文、研究データ、科研費、国際共著等  
に関する指標ページ構築
- 10 French Open Science Monitor日本版  
(文献メタデータ取込、OA指標算出、表示ウェブアプリ  
ケーション)

日本のOS状況がわかる  
(G7対応含む)

## 図書館員が

機関の論文および根拠データを、簡単に  
機関リポジトリに登録&公開できる

- 4 OAダッシュボードの機能強化 (機関向け、研究者向け)
- 5 OAアシストのメール機能等の強化、APIの開発
- 6 OAアシストのポリシーDBの整備とポリシー確認機能の開発
- 7 リポジトリ (JC) での検索機能
- 8 リポジトリ (JC) 利用機関のアクセスモニタリングUI



## 研究者が

研究PJ/データを、自分自身、  
または図書館を介して、  
機関リポジトリへ一括登録できる

- 1 データ管理 (GRDM) での査読付論文 (著者最終稿) と  
書誌情報の登録機能の開発
- 2 論文と根拠データを紐づけて、メタデータをリポジトリ (JC) へ  
登録する機能の開発
- 3 論文登録業務プロセスの研究者と図書館の双方の負荷軽減  
のためのワークフローシステムの開発

本発表では赤枠の開発項目を紹介

# 学術論文等の即時OAにおける機関リポジトリの役割

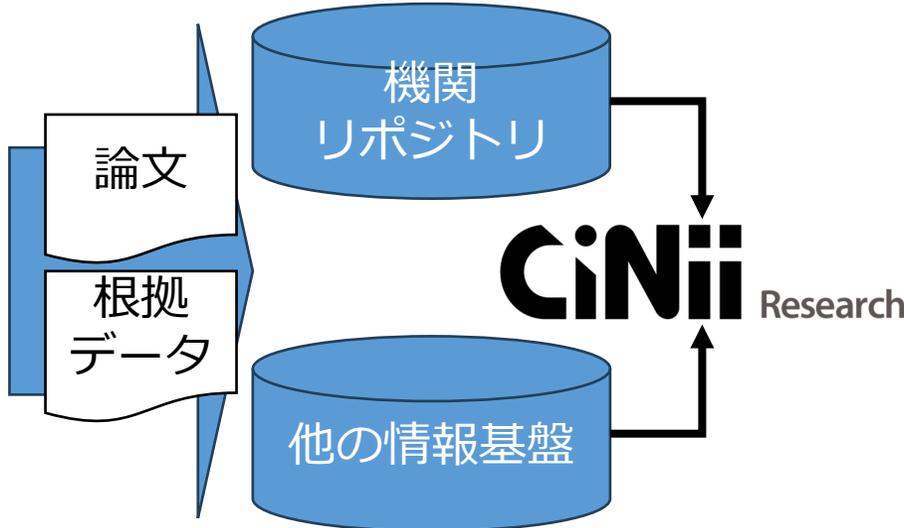
## 学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針

「対象競争的研究費の受給者（法人を含む。以下単に「受給者」という。）は、所属する機関において機関リポジトリが整備されている場合は、原則として、当該機関リポジトリにおいて学術論文及び根拠データを掲載する。」

（「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」（統合イノベーション戦略推進会議 令和6年2月16日決定）の実施にあたっての具体的方策、令和6年10月8日改正）

### 対象競争的研究費

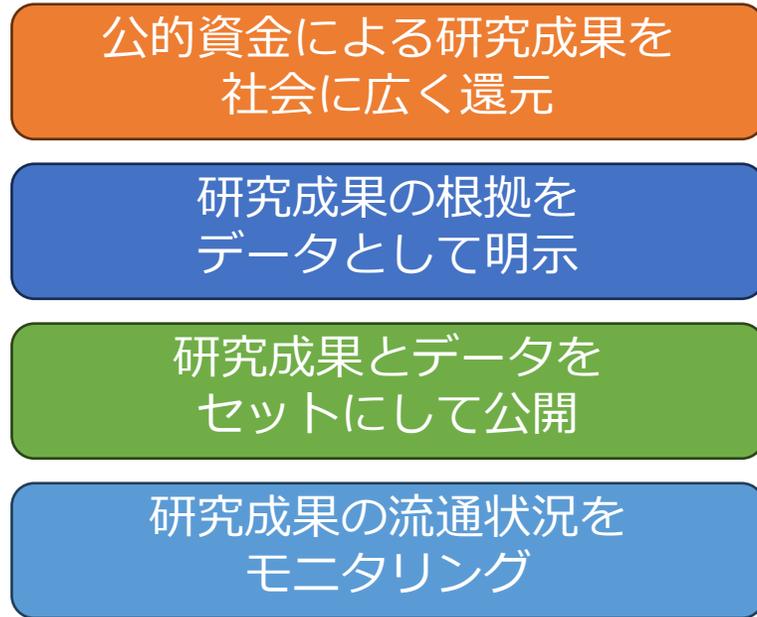
府省名	資金配分機関	制度名
文部科学省	日本学術振興会	科学研究費助成事業
文部科学省	科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業 (ALCA-Next及びCRONOSを除く)
文部科学省	日本医療研究開発機構	戦略的創造研究推進事業 (革新的先端研究開発支援事業)
文部科学省	科学技術振興機構	創発的研究支援事業



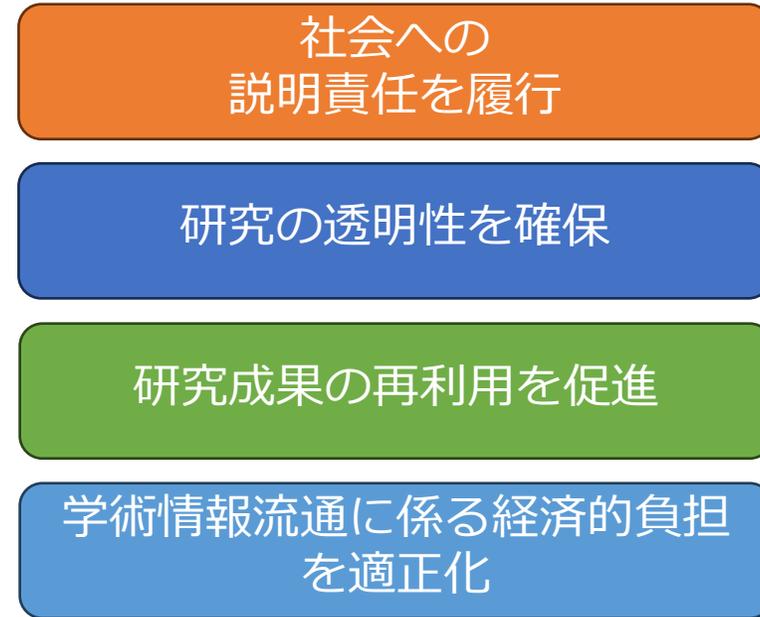
機関リポジトリ = 論文および根拠データの早期OA実現の場

# 学術論文等の即時OAにおける機関リポジトリへの期待

## 機関リポジトリによる即時OA



## 期待される効果



機関として研究データの管理、公開体制を構築・実施することで、機関の研究力発信にもつながり、結果としてオープンサイエンスへも貢献可能

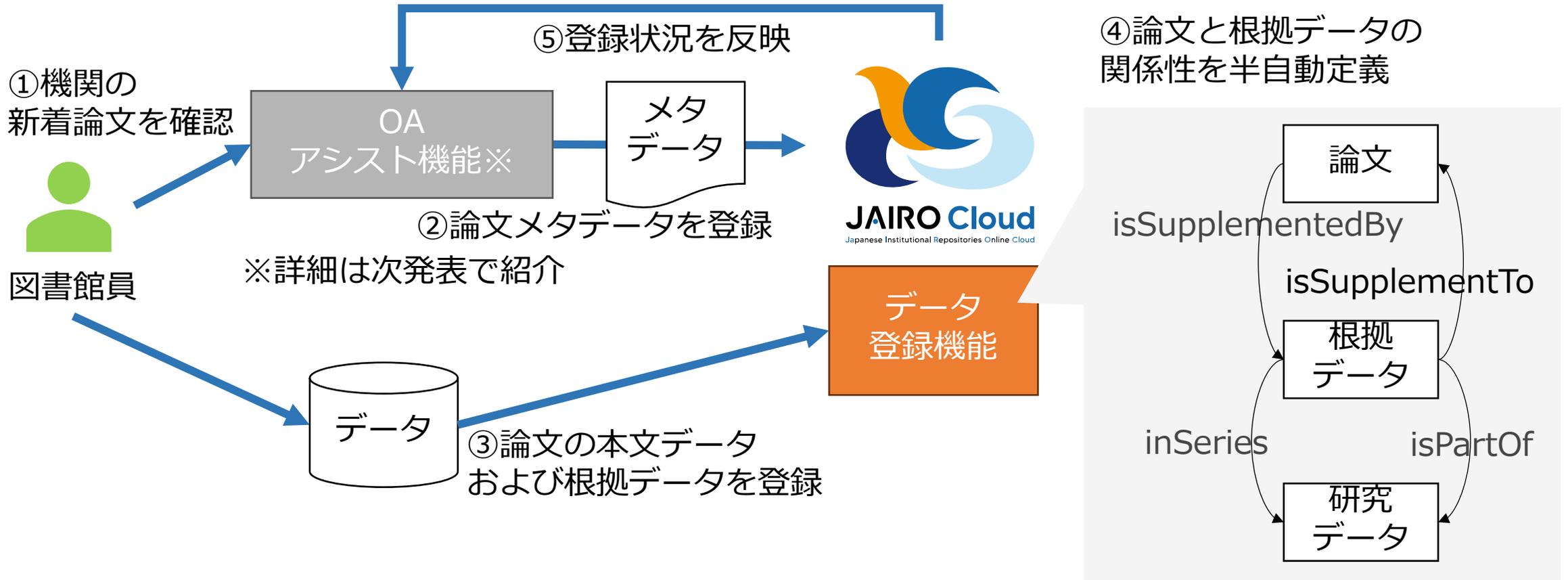
# JAIRO Cloudは何をするのか？

JAIRO Cloudでは2通りの即時OA支援を実施



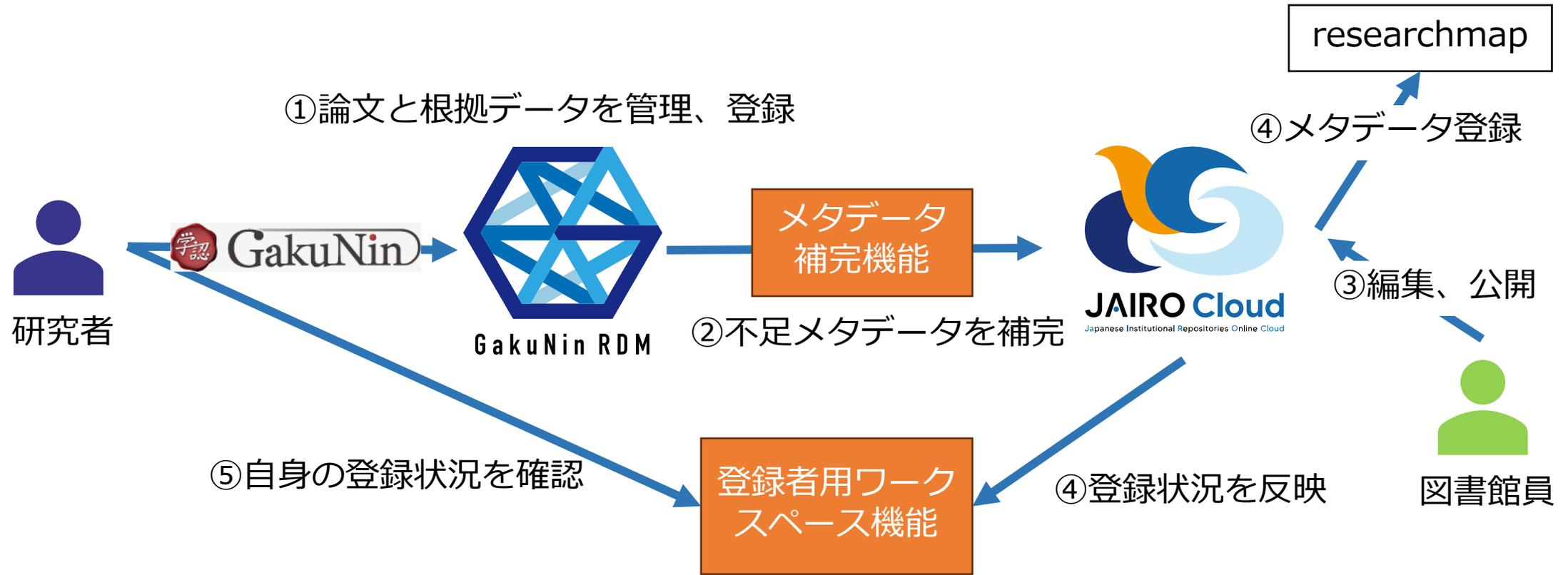
**即時OAの現実的な運用には  
研究者の協力が不可欠、従来の図書館主導のOAを支援しつつ  
研究者にもリーチする機関リポジトリを目指す**

# 図書館員に対する即時OA支援 7 2



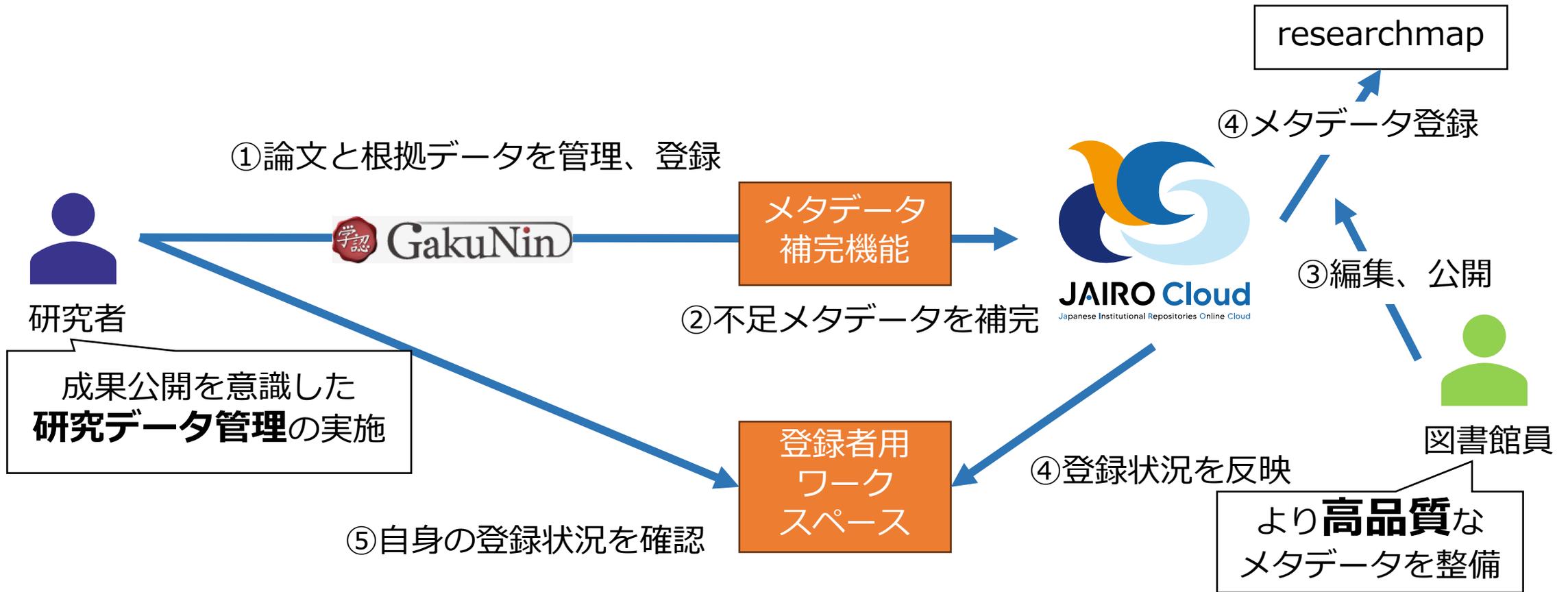
即時OA登録業務の効率化だけでなく  
利活用を意識したメタデータの整備を支援

# 研究者に対する即時OA支援(1/2) ③



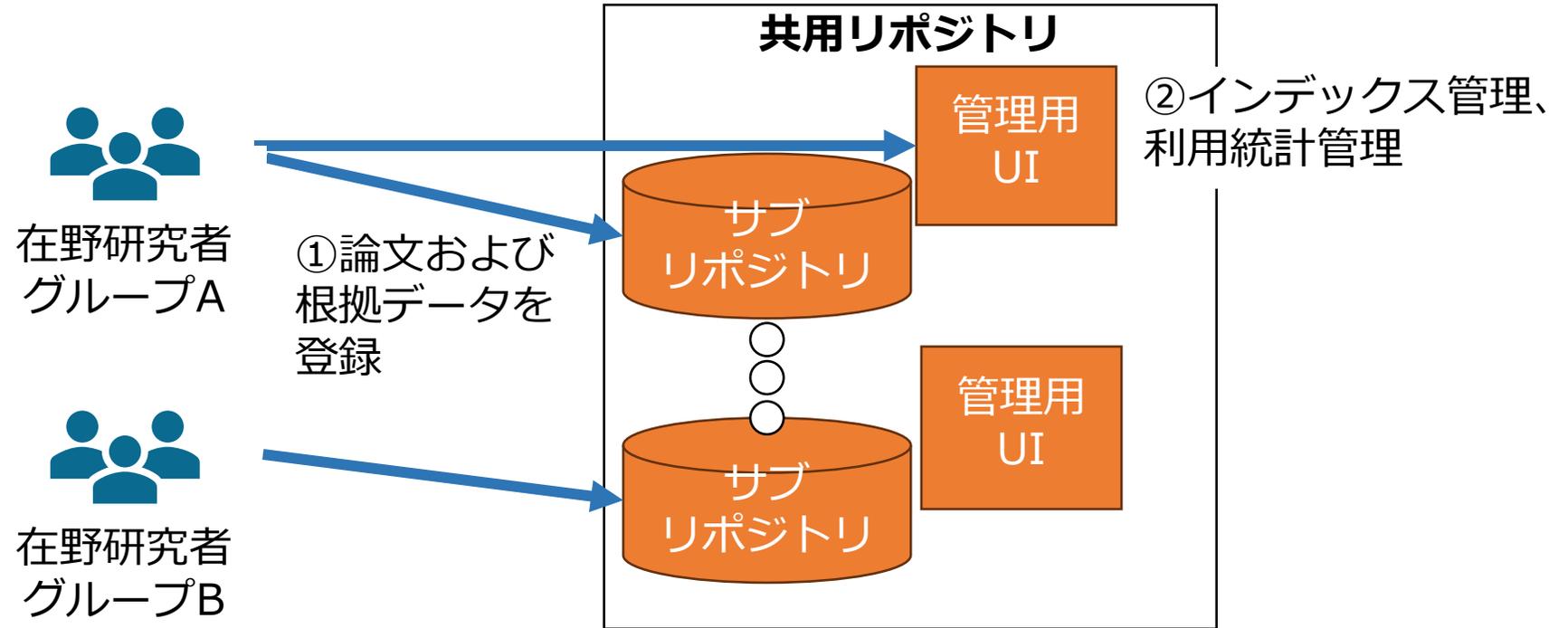
研究者と図書館の双方の登録業務を最適化  
現実的な即時OA対応を模索

# 研究者に対する即時OA支援(2/2) ③



ただ義務を履行するのではなく、  
研究活動の推進や研究力発信に繋がる即時OA対応としたい

# 機関リポジトリを有さない研究者に対する即時OA支援 ⑧



受け皿のない研究者も即時OA対応可能とする環境を整備  
JAIRO Cloud利用機関でも学部別の分散管理を実現可能

# おわりに

**JAIRO Cloudは機関が安心して  
即時OAに取り組めるよう機能を強化**



**JAIRO CloudはJPCOARと協力して  
即時OAに取り組みます**